

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 20年 6月
(第23～26週)

発行年月日：平成20年(2008年) 7月23日
発行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年		感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年		
		1～5月	6月	1～12月	6月			1～12月	1～5月	6月	1～12月	6月
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		0	11	0	5	0	98
	痘そう	0	0	0	0		0	0	0	0	0	10
	南米出血熱(*)	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
二類	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	急性灰白髄炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	結核(**)	108	9,999	26	2,353	178	20,151	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鳥インフルエンザ(H5N1)(**)	-	-	0	0	-	-	1	13	0	6	1
三類	コレラ	0	17	0	6	0	12	0	2	0	0	
	細菌性赤痢	0	108	0	19	1	450	0	2	0	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	7	544	2	402	55	4,586	0	2	0	1	
	腸チフス	0	24	0	1	0	47	0	0	0	0	
	パラチフス	0	15	0	1	1	22	0	0	0	0	
	E型肝炎	0	19	0	8	1	54	2	299	1	87	
四類	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	A型肝炎	0	71	2	19	1	154	0	0	0	0	
	エキノкокクス症	0	6	0	0	0	16	3	333	0	86	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	2	87	1	20	
	オウム病	0	4	0	0	0	30	0	83	0	16	
	オムスク出血熱(*)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	66	0	8	
	キャサナル森林病(*)	0	0	0	0	0	0	1	56	0	8	
	Q熱	0	2	0	0	0	7	4	573	3	135	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	1	32	0	4	
	コクシジオイデス症	0	1	0	0	0	3	0	8	0	1	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	1	314	0	78	
	西部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0	0	1	32	1	16	
	ダニ媒介脳炎(*)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	30	0	8	
つつが虫病	0	89	0	26	0	370	0	190	1	37		
デング熱	1	25	0	3	1	89	10	8,775	16	1,085		
東部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

滋賀県における全数報告感染症の概要(6月)

<結核> 性別:男性 16名、女性 10名
 類型:患者 18名
 無症状病原体保有者 8名
 病型:肺結核 10名、その他の結核 16名

<腸管出血性大腸菌感染症>
 性別:男性 1名、女性 1名
 年齢:2歳、28歳
 血清型・毒素型:O157・VT2 2名

<A型肝炎> 男性 48歳、女性 26歳
 推定感染経路は経口感染1名、不明1名で推定感染地域は日本国内です。

<レジオネラ症> 男性 63歳
 推定感染経路は水系感染(温泉)で、推定感染地域は日本国内です。

<ウイルス性肝炎> 男性 44歳
 推定感染経路は性的接触で推定感染地域は日本国内です。

<後天性免疫不全症候群>
 男性 25歳、52歳、女性 31歳
 推定感染経路は3名とも性的接触で、推定感染地域は日本国内です。

<破傷風> 男性 71歳
 推定感染経路は創傷感染です。

<風しん> 男性 30歳
 推定感染経路は不明で、ワクチン接種歴は無しです。

<麻疹> 性別:男性 7名、女性 9名
 年齢:10～14歳 1名、15～19歳 10名、20～24歳 4名、25歳～ 1名
 推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 10名、不明 6名で、推定感染地域は全員日本国内です。ワクチン接種歴は無し 8名、1回のみ接種 2名、不明 6名です。

(*) :平成19年4月1日から集計 - :平成19年は定点把握対象疾患のため未集計
 (**):平成20年5月12日から集計 - :平成19年および平成20年1月～5月11日は未集計

*1 検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

6月の概要

<インフルエンザ>

第24週(6/9~6/15)に彦根から報告があったのみで、他の保健所管内からの報告はありませんでした。

<小児科定点疾患>

各疾患の発生状況については疾病別定点当たり患者数のグラフに示すとおりですが、咽頭結膜熱(プール熱)、突発性発しん、手足口病、ヘルパンギーナ および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)では先月より増加していました。特に、手足口病およびヘルパンギーナで急増し、手足口病では高島で、ヘルパンギーナでは長浜で警報開始基準値を超えていました。

百日咳については先月よりかなり減少し、第23週(6/2~6/8)に彦根から報告があったのみです。流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、甲賀からの報告がかなり多くなっていました。また、警報・注意報システムによる疾患別発生状況は下記の表に示すとおりです。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少していましたが、草津からの報告がやや多くなっていました。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である無菌性髄膜炎は東近江から、細菌性髄膜炎は大津から報告がありました。マイコプラズマ肺炎およびクラミジア肺炎の報告はありませんでした。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる 警報・注意報発生状況 (平成20年第23~26週)

疾患名	23週 6/2~6/8	24週 6/9~6/15	25週 6/16~6/22	26週 6/23~6/29	警報開始基準値	警報終息基準値	注意報基準値
咽頭結膜熱 保健所	大津	大津 高島	大津 高島	大津 高島	2.00	0.10	-
A群溶レン菌咽頭炎 保健所	甲賀 東近江	甲賀 東近江	東近江	東近江	4.00	2.00	-
水痘 保健所		甲賀	甲賀	甲賀	7.00	4.00	4.00
流行性耳下腺炎 保健所	甲賀	甲賀	甲賀	甲賀	6.00	2.00	3.00
手足口病 保健所				高島	5.00	2.00	-
ヘルパンギーナ 保健所				長浜	6.00	2.00	-

：警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。
：注意報基準値を超えています。
-：注意報の対象外という意味です。

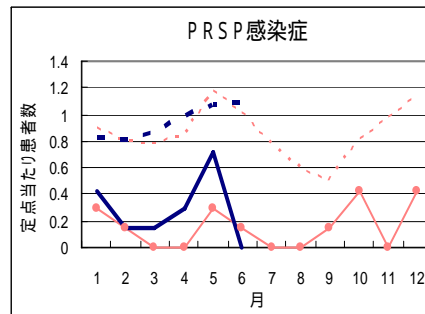
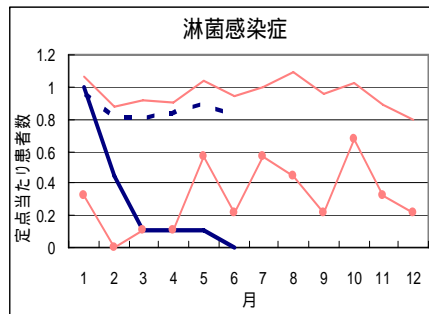
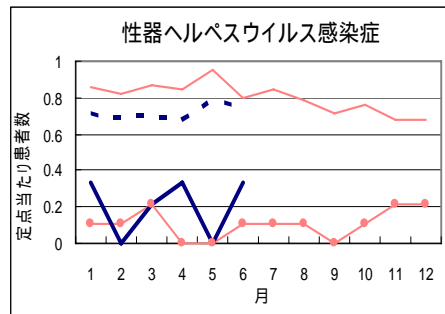
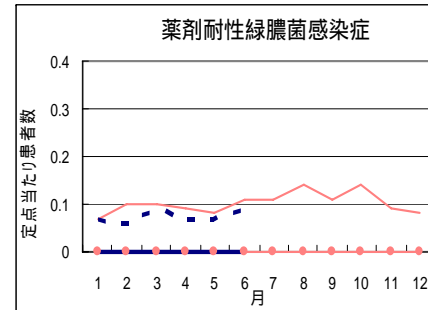
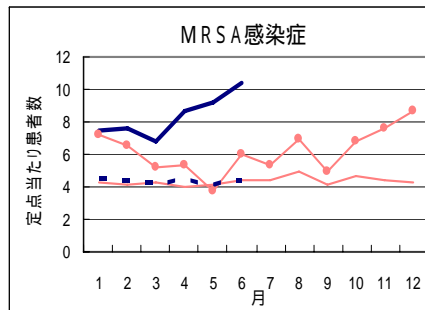
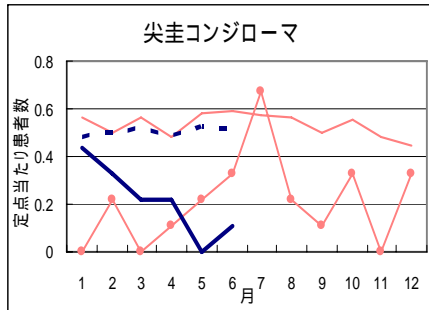
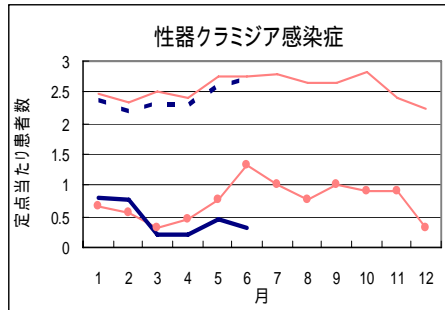
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成20年6月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	7	7	2	2	4	3							25
	定点当たり	0.78	0.78	0.22	0.22	0.44	0.33							2.77
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	0	2	3	0	3							11
	定点当たり	0.33	0	0.22	0.33	0	0.33							1.21
尖圭コンジローマ	罹患数	4	3	2	2	0	1							12
	定点当たり	0.44	0.33	0.22	0.22	0	0.11							1.32
淋菌感染症	罹患数	9	4	1	1	1	0							16
	定点当たり	1.00	0.44	0.11	0.11	0.11	0							1.77
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	52	53	48	61	64	73							351
	定点当たり	7.43	7.57	6.86	8.71	9.14	10.43							50.14
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	3	1	1	2	5	0							12
	定点当たり	0.43	0.14	0.14	0.29	0.71	0							1.71
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0							0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0							0

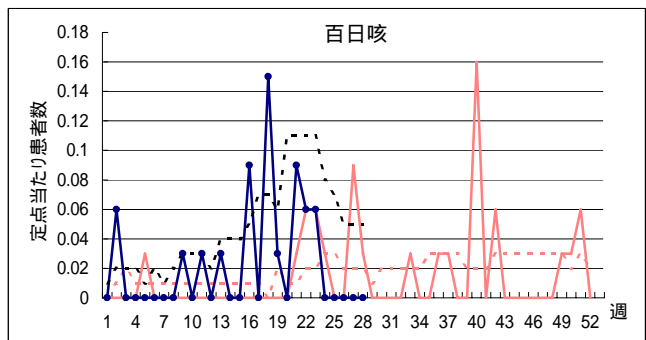
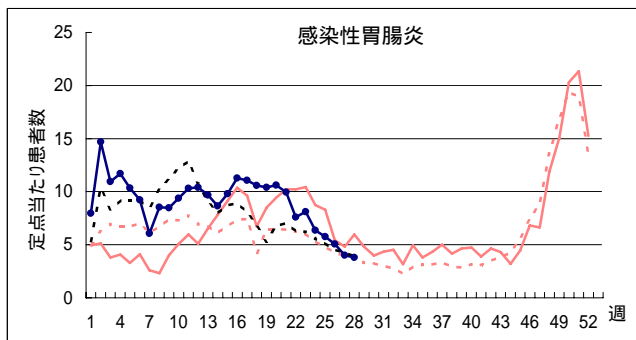
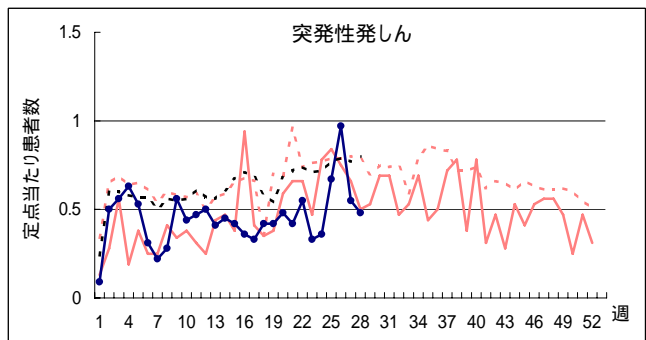
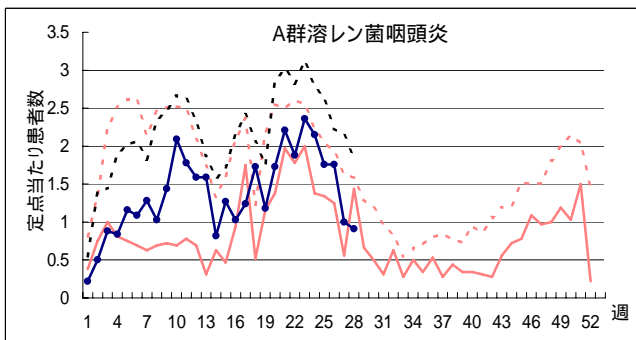
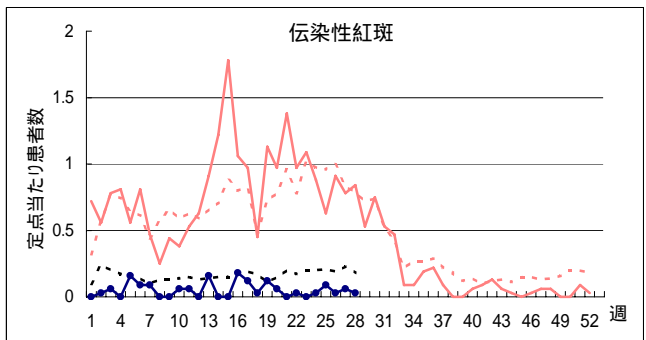
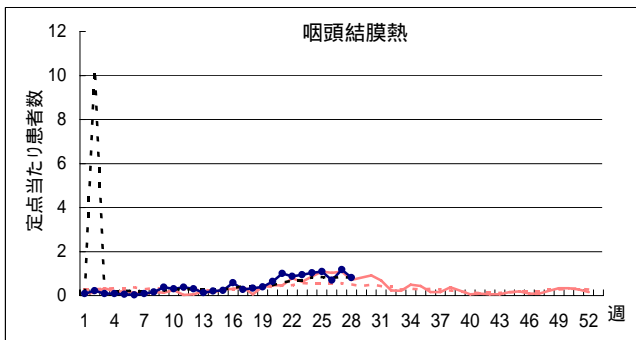
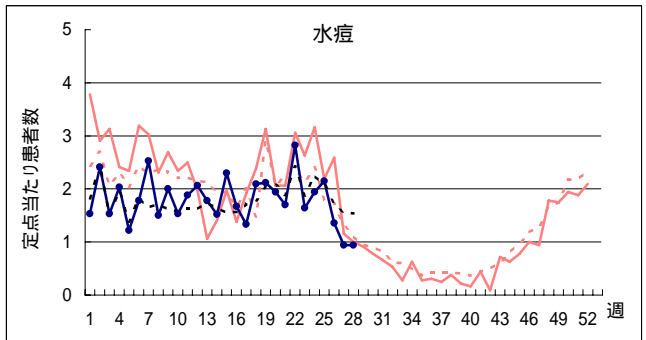
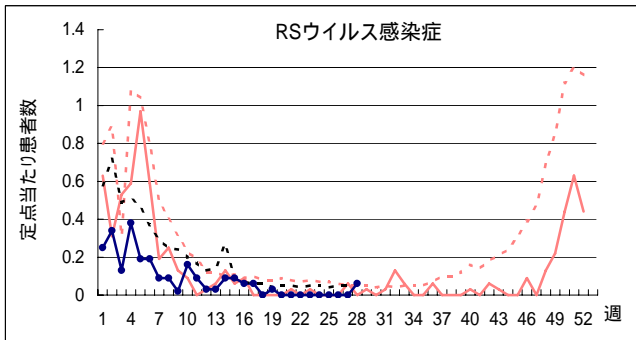
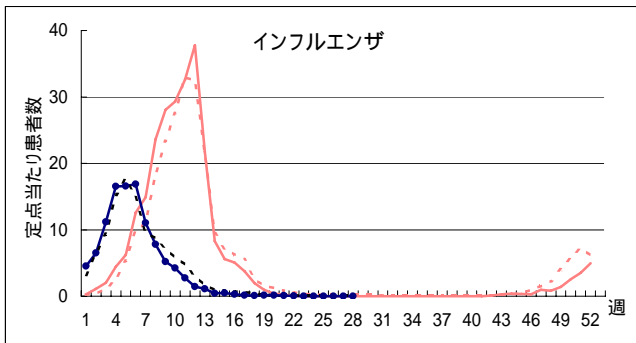


戻る

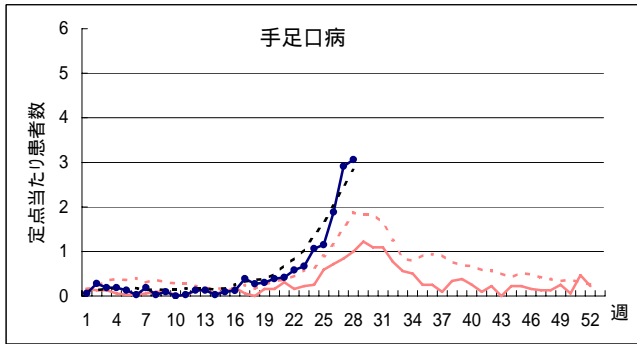
H19 { 滋賀 ●●●●●
全国 ○○○○○
H20 { 滋賀 ●●●●●
全国 ○○○○○

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成20年第26週、H19.12.31～H20.6.29)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第26週、H19.12.31～H20.6.29)



H19 { 滋賀 ————
 全国
 H20 { 滋賀 ●●●●●●
 全国

